日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN)総会資料 (2024年12月7日、北海道大学学術交流会館(札幌市))

I 報告および説明 1. 事業報告 p.2 2. 決算報告 p.6 3. 会計監査報告 p.7 4. 事業計画 p.8 5. 予算計画 p.9 6. その他 アクター II 議事 1. 事業報告、決算報告、会計監査の承認 2. 事業計画案および予算案の承認 3. 選挙 4. その他 その他

Ⅲ その他

2023~2024 年日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN)事業報告 (2023 年 11 月 1 日から 2024 年 10 月 31 日まで)

1. 会員現況

2024年10月31日現在の総会員数は427名(社)で,昨年から6名減少した.

会員区分	人数	前年比
専門会員(ASEV 会員)	71	+1
専門学生会員(ASEV 会員)	2	+1
一般会員	260	-8
一般学生会員	14	-2
名誉会員(ASEV 会員 2 名を含む)	13	+2
特別個人会友	4	0
産業会員	63	0
合計	427	-6

2. 年次大会,総会

2-1 日本ブドウ・ワイン学会 2023 年名古屋大会

日本ブドウ・ワイン学会 2023 年名古屋大会(第 38 回)が,2023 年 12 月 16 日(土)~17 日(日)まで名城大学(名古屋市天白区)で開催された.12 月 16 日(土)は,大会実行委員長の中尾義則氏の開会の辞に始まり,19 題の口頭発表,ポスター発表者によるショートプレゼンテーションが行われ,続いて特別講演として加藤雅士先生(名城大学農学部)の「愛知の発酵食の魅力と大学ブランド清酒の開発」,総会,研究会が行われた.12 月 17 日(日)は,12 題のポスター発表,2023 年学会賞受賞者講演が行われた.大会の参加者は163 名,研究会の参加者は102 名であった。また,大会発表賞として以下の2 題が選出された.

0-9「ワイン用樽材から抽出される糖類に関する研究」

- ○貝沼元気・久本雅嗣・渡辺(斉藤)史恵・奥田 徹(山梨大学ワイン科学研究センター)
- P-4「甲州ブドウの矮性育種に向けた植物ホルモン応答遺伝子 VvSAUR50 の機能評価」
- ○三上法香・森山綾音・鈴木俊二・上田雄大・榎 真一(山梨大学ワイン科学研究センター)

2 – 2 第 40 回総会

第 40 回総会は 2023 年 12 月 16 日(土)に,名城大学 E404 教室で開催された.参加者は 56 名(委任状 135 通)であった. これにより 2022~2023 会計年度の事業報告・決算報告・会計監査報告,2023~2024 会計年度の事業計画案と予算案が承認された.

3. セミナーの開催

2023 年度セミナーは 2023 年 12 月 17 日(日)に名城大学 E404 教室で開催され、「データで見る酒類産業の多様化と、ワイン業界の課題」喜多恒夫氏(きた産業(株))、及び「日 EU・EPA を契機として新たに認可となった食品添加物を利用したワイン製造技術について」川上晃氏(シンワフーズケミカル)の2題の講演が行われた。

4. 常任理事会

常任理事会は 2 回 {[第 131 回, 2024 年 4 月 24 日 (水), Zoom 会議] [第 132 回, 2024 年 10 月 3 日 (木), Zoom 会議] }開催された.

全ての議事内容は J. ASEV Jpn.を通して全会員に報告される予定である.

5. 評議会

評議会は 2023 年 12 月 1 日(土) に,メール会議として開催され,第 40 回総会への提出議案について検討され,承認された.

6. 編集委員会報告

日本ブドウ・ワイン学会編集委員会の開催

2023 年度編集委員会を 2023 年 12 月 5 日(金) に名城大学(対面&オンライン)で開催し、 学会誌の編集方針について議論した.

なお、2024 年度編集委員会を 2024 年 12 月 6 日(金)に北海道大学ワイン教育研究センター (対面&オンライン)で開催し、学会誌の編集方針について実施予定.

会誌の発行

J. ASEV. Jpn. Vol.34 No.2 & 3, Vol.35 No.1 を発行した.

Vol.34 No.2 & 3

研究報文 3 編, 学術情報 4 報, AJEV 抄録, 2023 年名古屋大会プログラム・大会要旨, 常任理事会議事録, 投稿規定・投稿要領および入会案内を掲載し, Vol.34 No.2 として 2023 年 12 月 8 日付で発行した.

Vol.35 No.1

巻頭随想,研究報文 3 編,学会情報 9 報,AJEV 抄録,常任理事会議事録,投稿規定・投稿要領および入会案内を掲載し,2024 年 6 月 20 日付で発行した.

7. 事務局

アメリカ学会との折衝,会計処理,名簿管理,2024年度大会への準備,学会誌等の発送,ホームページの管理などを行った.

8. 学会賞選考委員会

2024 年 学会賞選考委員会(功績賞、功労賞、技術賞)は次の通りである.

委員長:大滝敦史

委 員: 奥田 徹, 小田滋晃, 小原 均, 小松正和, 小林弘憲, 齋藤寿広,

沢邊昭義, 武井千周, 中尾義則, 宮井孝之

選考委員会の開催(功績賞、功労賞、技術賞)

日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN) 授賞規定に基づき 2024年の功績賞、功労賞および技術賞の推薦依頼を行い(2024年8月28日(水))候補者を選出した. 2024年10月3日(木)に選考委員会を開催し、以下のように決定した.

2024 年功績賞:該当なし 2024 年功労賞:該当なし

2024 年技術賞:小松正和・佐藤憲亮・木村英生・恩田 匠(山梨県産業技術センター)「甲州オ

レンジワインの醸造技術に関する研究」

2024年 学会賞選考委員会(論文賞)は次の通りである.

委員長:大滝敦史

委 員: 奥田 徹, 小田滋晃, 小原 均, 小松正和, 小林弘憲, 齋藤寿広,

沢邊昭義,武井千周,中尾義則,宮井孝之

選考委員会の開催 (論文賞)

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 授賞規定に基づき 2024 年論文賞の推薦依頼 (2024 年 8 月 28 日 (水)) を行い, 2024 年 10 月 3 日 (木) に選考委員会を開催し, 以下のように決定した.

2024 年論文賞: 小田昌希〔(公財) ルイ・パストゥール医学研究センター(現在) 高知大学〕「ワイン原料用ブドウ生産者が持つ農地保全効果についての考察 – 長野県千曲川ワインバレーを対象に – 」

9. 選挙

本会定款第3条,及び7条の規定により,2025年1月1日より2026年12月31日を任期とする役員の選挙の準備を行った。本選挙の推薦者を,2024年7月4日に募集し,これに基づき,第132回常任理事会で役員候補者を決定した。以下に示す候補者の公示案を10月15日に郵送で会員へ発送した。

会 長 大滝敦史(メルシャン)

書 記 中尾義則(名城大)

会 計 宮井孝之(サントリー)

理 事 小原 均(千葉大名誉教授), 小林弘憲(メルシャン), 小松正和(山梨県),

齋藤寿広(農研機構),澤辺昭義(近畿大),武井千周(サン.フーズ)

編集委員長 小田滋晃(パストゥール研)

編集副委員長 中尾義則(名城大)

編集委員 榎 真一,川崎訓昭,川俣昌大,岸本宗和,小林弘憲,小松正和,

小山和哉, 齋藤寿広, 佐々木佳菜子, 佐藤充克, 澤邊昭義, 塩崎修志,

清水秀明, 久本雅嗣, 望岡亮介, 山下裕之

名誉顧問 児玉 徹

名誉会員 井上 繁,上野 昇,岡崎直人,米虫節夫,嶋谷幸雄,袖山政一,

塚原嘉章,中西載慶,平山史郎,松井弘之,松本信彦,村上安生,

矢ケ崎啓一郎

評議員伊藤和秀,金子明裕,菊池敬,喜多常夫,小西超,小山和哉,

佐藤充克, 嶌村公宏, 清水健一, 曾根輝雄, 萩原健一, 藤原和彦, 古屋浩二, 三澤茂計, 安井美裕, 柳田藤寿, 吉崎隆之, 渡辺唯史 会計監事 工藤雅義,廣瀬和貴

事務局

事務局長 奥田 徹(山梨大) 会計補佐 渡辺(斉藤)史恵

事務局員 井上絵梨,鈴木俊二,久本雅嗣,横森洋一

10. 西日本地域研究会の活動

西日本地域研究会 第 22 回研究集会を 2024 年 6 月 8 日(土)京都大学農学部総合館にて開催した.

統一テーマ「信州上田、東御におけるワイン造りへの挑戦」で4題の報告が行われた。

第1報告: 『「地域農業を守るために、信州うえだファームの挑戦」 一地域と一体となったワイン振興の取組みー』 (有) 信州うえだファーム顧問、前常務取締役 船田寿夫氏

第2報告: 『ヴィラデストとアルカンヴィーニュ「千曲川ワインアカデミーについて」』 ヴィラデスト社長 小西 超氏

第3報告:『「ぶどう作り・医療を通した自然との戦い・共存」』 スターダスト・ヴィンヤードオーナー 星野勇馬氏

第4報告: 『地域で活躍する信州うえだファームの卒業生たち』 (有) 信州うえだファーム果樹·新規就農担当 藤崎 望

以上

II. 2023~2024年日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN)決算報告

1 一般会計(2023年11月1日~2024年10月31日)

1 一般会	≋計(2023年11月1日~2024年10月31日)		
I 収入(の部	2024年	2024年
	科目	予算	実績
	a 前年度繰越	3,136,899	3,136,899
	b 年会費	1,750,000	2,005,714
	c その他(別刷、雑誌代等)	0	722,061
	d 預金利息	5	65
	e アメリカブドウ・ワイン学会(ASEV)より補助金(\$500)	50,000	76,490
	合計	4,936,904	5,941,229
		, ,	, ,
Ⅱ 支出(の部		
	科目		
	a 会誌刊行費(Vol. 34-2,3, 35-1)	850,000	850,112
	小計	850,000	850,112
		·	·
	b 事業費		
	セミナー開催費(2024年)	100,000	0
	会議費	60,000	1,190
	本部運営費	300,000	128,591
	編集委員会運営費	250,000	389,070
	大会準備金(2024年大会)	150,000	0
	西日本地域研究会関係費	100,000	100,000
	各賞経費	200,000	160,445
	小計	1,160,000	779,296
	c 事務費		
	印刷費	100,000	152,330
	通信費	200,000	221,423
	消耗品費	100,000	97,500
	振替手数料、送金料	70,000	47,143
	小計	470,000	518,396
	d 特別会計(アメリカ学会交流費準備金)へ繰入	200,000	200,000
	e 予備費	2,256,904	22,200
	合計	4,936,904	2,370,004
皿 収支	d= 3		
	収入	4,936,904	5,941,229
	支出 収支	4,936,904	2,370,004
	収支	0	3,571,225
ᄼᄹᆒᄼ	計(2022年14日4日。2024年40日24日)		
	計(2023年11月1日~2024年10月31日) は 対	00045	00045
(コ) アブ!	Jカブドウ・ワイン学会交流費準備金 ・	2024年	2024年
	I 収入	予算	<u>実績</u>
	a 前年度繰越 b 2022~2024年一郎会計 t-U	1,315,788	1,315,788
	b 2023~2024年一般会計より	200,000	200,000
	c 預金利息 合計	1 515 700	251
	口前	1,515,788	1,516,039

Ⅱ 支出		
a 年次大会へのASEV親学会代表招待関係費	0	0
b ASEV親学会との交流、意見交換会費	50,000	0
c 予備費	0	0
合計	50,000	0
_Ⅲ 収支		
収入	1,515,788	1,516,039
支出	50,000	0
	1,465,788	1,516,039
(2)記念事業費等準備金	2024年	2024年
_I 収入	予算	実績
a 前年度繰越	2,020,667	2,020,667
b 預金利息	0	34
合計	2,020,667	2,020,701
Ⅱ 支出		
A =1	0	0
合計	0	0
Ⅲ 収支		
収入	2,020,667	2,020,701
支出	0	0
	2,020,667	2,020,701

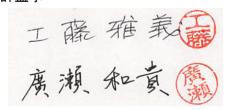
3 財産目録(2024年10月31日現在)

現金	43,320
郵便振替貯金	3,856,221
ゆうちょ銀行 普通預金	1,187,723
山梨中央銀行 定期預金	2,020,701
山梨中央銀行 普通預金	362,940

会計監査報告

上記の現金、預貯金、帳簿並びに諸票書類を監査した結果、相違ないことを確認しました。 2024年 11月8日

会計監事



2024~2025 年 日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN) 事業計画 (2024年11月1日~2025年10月31日)

1. 大会の開催

2024年大会は、曾根 輝雄 氏(北海道大)を大会実行委員長として、北海道大学(北海道札幌市)にて12月7~8日に行う。また、2025年大会は2025年12月に山梨大学において奥田 徹 氏(山梨大学)を大会実行委員長として40周年記念大会として開催するための準備を行う、2025年大会はアメリカ親学会より代表者を招聘する予定である。

2. セミナーの開催

2024 年大会の開催に合わせて, 2024 年セミナーを開催するための準備を行う. また, 2025 年大会の開催に合わせて, 2025 年セミナーを開催するための準備を行う.

- 日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN)各賞の授与
 日本ブドウ・ワイン学会(ASEV JAPAN)各賞を授与する.
- 4. J. ASEV Jpn.誌の発行
- J. ASEV Jpn.誌の発行

当期に2号分発刊する.

Vol.35, No.2 (2024年12月), Vol.36, No.1 (2025年6月) Vol.36, No.1 が通巻100号になるため記念特集を計画

J. ASEV. Jpn. 投稿規定の変更

2023 年より AJEV の投稿規定の大幅なアップデートが実施されたため, J. ASEV. Jpn.も変更が必要.

投稿規定担当者で草案を作成し、2025年より適用を目指す.

- 5. アメリカブドウ・ワイン学会年次大会への日本部会代表の参加 2025年6月のアメリカブドウ・ワイン学会(カリフォルニア州モントレー)に代表者を 派遣し、交流を図る.
- 6. 年次大会や学会誌での論文発表の促進 年次大会での発表数や論文の数が増えるように努力する.

7. 会員増員への努力

学術研究,あるいはブドウ栽培およびワイン製造に従事する個人会員の勧誘を積極的に行う.

- 8. 産業会員の勧誘と会費の増口要請 産業会員や会費の口数が増えるように努力する.
- 9. 定款の改訂

定款を見直し,必要があれば改訂する.

1 一般会計(2024年11月1日~2025年10月31日)
I収入の部
科目
a 前年度繰越

人の音	FB	2024年	2025年
	科目	実績	予算
а	前年度繰越	3,136,899	3,571,225
b	年会費	2,005,714	1,750,000
С	その他(別刷、雑誌代等)	722,061	0
d	預金利息	65	5
е	アメリカブドウ・ワイン学会(ASEV)より補助金(\$ 500)	76,490	50,000
	合計	5,941,229	5,371,230

Ⅱ 支出の部

Ⅱ 支出(•		
	科目		
	a 会誌刊行費(Vol.35-2, 36-1)	850,112	1,000,000
	小計	850,112	1,000,000
	. + 44 #		
	b 事業費		400.000
	セミナー開催費(2024年)	0	100,000
	セミナー開催費(2025年)	0	100,000
	会議費	1,190	60,000
	本部運営費	128,591	300,000
	編集委員会運営費	389,070	400,000
	大会準備金(2024年大会)	0	150,000
	大会準備金(2025年大会)	0	150,000
	西日本地域研究会関係費	100,000	100,000
	各賞経費	160,445	200,000
	小計	779,296	1,560,000
		•	, ,
	c 事務費		
	印刷費	152,330	100,000
	通信費	221,423	300,000
	消耗品費	97,500	100,000
	振替手数料、送金料	47,143	70,000
	小計	518,396	570,000
	d 特別会計(アメリカ学会交流費準備金)へ繰入	200,000	200,000
	e 予備費	22,200	2,041,230
	合計	2,370,004	5,371,230
Ⅲ 収支			
	収入	5,941,229	5,371,230
	支出	2,370,004	5,371,230
	収支	3,571,225	0

2 特別会計(2024年11月1日~2025年10月31日)

(1) アメリカブドウ・ワイン学会交流費準備金 I 収入	2024年 実績	2025年 予算
a 前年度繰越	1,315,788	1,516,039
b 2024~2025年一般会計より	200,000	200,000
c 預金利息	251	0
合計	1,516,039	1,716,039

	Ⅱ 支出		
	a 年次大会へのASEV親学会代表招待関係費	0	600,000
	b ASEV親学会との交流、意見交換会費	0	50,000
	c 予備費	0	0
	合計	0	650,000
	Ⅲ 収支		
	収入	1,516,039	1,716,039
	支出	0	650,000
		1,516,039	1,066,039
(2)記念	事業費等準備金	2024年	2025年
	I 収入	実績	予算
	a 前年度繰越	<u>美</u> 模 2,020,667	<u> </u>
	a 前年度繰越	2,020,667	2,020,701
	a 前年度繰越 b 預金利息	2,020,667 34	2,020,701 0
	a 前年度繰越 b 預金利息 合計 II 支出	2,020,667 34 2,020,701	2,020,701 0 2,020,701
	a 前年度繰越 b 預金利息 合計	2,020,667 34 2,020,701	2,020,701 0 2,020,701
	a 前年度繰越 b 預金利息 合計	2,020,667 34 2,020,701 0	2,020,701 0 2,020,701 0 0
	a 前年度繰越 b 預金利息 合計 Ⅱ 支出 合計 Ⅲ 収支 収入	2,020,667 34 2,020,701 0 0	2,020,701 0 2,020,701
	a 前年度繰越 b 預金利息 合計	2,020,667 34 2,020,701 0	2,020,701 0 2,020,701 0 0